

6次産業化の取組事例 〔高知県芸西村〕

1. 地域農業の状況

- 芸西村は、高知県の中央東寄りに位置し、南は太平洋に面し、北は四国山地、東は安芸市八流台地、西は手結山台地に囲まれている。冬季は四国山地で北風が遮られ、太平洋の黒潮の影響もあり気候は温暖で積雪もまれである。

〈位置図〉



- 北部は山地が多く、ほとんどが森林で耕地は少ない。海岸に近い平坦地では、温暖な気候を活かして施設園芸が盛んで、ナス・ピーマン・花き（ブルースター等）が栽培されている。

- 地域の特産品販売所として平成13年にオープンした有限会社かっぱ市では、地元産野菜や加工品を販売している。



【販売所】



【店内】

耕地面積	314ha	総農家数	335戸
田耕地面積	288ha	自給的農家数	49戸
畑耕地面積	26ha	販売農家数	286戸

資料：耕地面積統計（H26年）、2010年農林業センサス（農林水産省）

2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体	有限会社かっぱ市	地区名	ウルシタ地区
再生面積	0.54ha	取組年次	平成24年11月～平成25年1月
作付作物	サトウキビ・果樹・野菜等	販路	直販所で販売

（1）直販所が経営改善計画の認定を受け、耕作放棄地を再生利用

- 有限会社かっぱ市は、地域特産品の販売に取り組んできたが、時期により商品の野菜が品薄となることや、加工品の原料を確保したいことから、自ら農地を借り入れて農産物を生産したい意向があった。そこで、かっぱ市は認定農業者となるとともに、農業委員会が斡旋した耕作放棄地を国・県の補助事業により再生して活用することになった。



【再生前】



【再生後】

（2）生産物の加工に取り組み、地域特産品として直販の目玉に

- 生産した野菜等は青果として直販所で販売するほか、惣菜等に加工している。
また、芸西村では江戸時代から黒砂糖の生産が盛んで「白玉糖」の名で知られている。
生産したサトウキビを村内の加工施設で精糖し、特産品として販売している。



【白玉糖】

活用した支援策

H24 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国）（土壌改良・営農定着）
H24 高知県農地活用推進事業